

いっときの避難場所と地域防災拠点 in 西柴団地



各ブロックのいっときの避難場所

- 1ブロック 西柴第1公園
- 2ブロック 西柴第1公園
- 3ブロック 西柴第1公園
- 4ブロック 西柴第3公園
- 5ブロック 西柴第3公園
- 6ブロック 称名寺東公園
- 7ブロック 西柴第3公園
- 8ブロック 称名寺東公園
- 9ブロック 称名寺東公園

**西柴小学校
(地域防災拠点)**
この地面は
海拔40m以上です

**西柴第3公園
(4・5・7ブロック)**
この地面は
海拔30m以上です



※津波のときは、いちはやく高台へ避難しましょう。!



保存版 2015年改定

地震のときの 避難マニュアル

ラジオ・テレビ等から正確な情報を入手しましょう。

津波のときは、いちはやく高台に避難しましょう。!

バンドナでご近所に無事を知らせましょう。

ご近所の無事を確認しましょう。



●「いっときの避難場所」とは

- ・ 自宅で安全が確保できないときに、いったん集まって状況を確認する場所です。
- ・ 広域避難場所等へ避難するときにも、いったん集まります。
- ・ 自治会による安否確認や避難誘導の活動拠点となります。

●「地域防災拠点」とは

自宅に住めなくなったときに一定期間避難生活を送る場所です。西柴小学校が指定されています。

●「広域避難場所」とは

大火災で一面火の海になったときに、輻射熱や煙から身を守るために一時的に避難する場所です。
長浜公園一帯(循環器呼吸器病センター含む)、称名寺裏山一帯が指定されています。

地震避難マニュアル

1 自身の安全確保を図る

- ◆家族の無事を確かめます。
- ◆津波や火災等の状況を把握します。
- ◆自宅が安全ならば、避難の必要はありません。

☆ふだんから、家屋の耐震補強、家具の固定を。消火器の準備も。



2 黄色いバンダナで、ご近所に無事を知らせる

- ◆家族の安全を確認できたたら、ご近所の方に無事を知らせましょう。
- ◆黄色いバンダナなど黄色い布を門扉等に掲げます。

☆ふだんから、ホイッスルなどご近所に助けを求める手段を携帯しましょう。



3 ご近所の安否を確認する

- ◆ご近所で黄色いバンダナの掲出がなかったら、声を掛け、安否を確認します。
- ◆負傷者等がいたら、ご近所の協力のもとに救助を行います。
- ◆バンダナパトロール隊によるご近所の救援活動に協力しましょう。

4 津波のときは高台へ避難する

- ◆津波のときは、高台に、直ちに避難しましょう。
- ◆ご近所に声を掛け、歩いて避難します。

☆ふだんから、安全な避難経路の確認を。



5 いっときの避難場所で状況を確認する

- ◆余震等が続くときは、屋外の安全な場所で様子をみます。
- ◆いっときの避難場所は、海拔 13mを超えています。
- ◆ブロック毎の安否確認の活動拠点ともなります。

☆自宅を離れる際には、ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーをオフにし、戸締りを。

☆自宅を離れるときはバンダナを掲げたままで。



6 安全を確認して自宅に戻る

- ◆自宅に津波や火災、倒壊の危険がないときは、自宅に戻ります。
- ◆水道や電気、ガス等の供給がストップしています。
- ◆西柴小学校（地域防災拠点）にも十分な物資はありません。

☆ふだんから、1週間分の水と食料のストックを。



7 自宅に住めないときは、西柴小学校へ避難する

- ◆自宅に倒壊などの危険があるときは、地域防災拠点(西柴小学校)へ避難します。

☆西柴小に災害公衆電話が設置されます。

☆ふだんから、家族親戚間で「171」災害用伝言ダイヤルの使い方の徹底を。